



日本から約5200キロ離れた東ティモールで、2024年1月から看護師隊員として活動している。東ティモールはポルトガルの植民地やインドネシアへの併合を経て、02年に独立したアジアで一番若い国である。さまざまな苦難を乗り越えた国であることから、愛国心が強く、独立したこ

JICA だより



東ティモール
大西幸子さん(50)
三原市出身

本当に温かい国も人も

手県とほぼ同じ大きさの国である。公用語のテトゥン語には今も苦戦する日々だが、ティモール人は「ゆっくりでいい」と、優しく接してくれる。

配属先の研修センターでは医師や助産師、看護師が在籍し、医療従事者を対象に各種の研修作業を実施している。私は主に救急時の対応や看護技術の研修を受

てもよくしゃべるし、質問も多く寄せられ、さらに長い。東ティモールの人は、人前ではしゃべることにはちうちよなく堂々としている。さらにユーモアにたけ、冗談も言って一緒に笑う。研修の合間や休憩中はダンスや運動、ゲーム、カラ

また同僚は職場にパンやバナナなどを持参し、私に分けてくれることもある。ここでは多くの人が大家族で暮らしていることから、「分け合い、助け合いの文化」が浸透しているようだ。東ティモールは、国も人柄も本当に温かい。



研修中のグループワークで熱心に意見交換をする参加者。みんなとてもよくしゃべり、質問も多い
け持ち、ときオケをして気分転換を図るには地方へ出るのが日常。スピーカーを持ち張することもち運び、音楽がかかる時もある。1回の研修期間は5日間と長い。参加者は熱心にメモを取り、グループワークで無口な人はまずいない。発表者になればと歌をとて褒めてくれるみんなのことも大好きだ。

オケをして気分転換を図るのが日常。スピーカーを持ち運び、音楽がかかる時もある。1回の研修期間は5日間と長い。参加者は熱心にメモを取り、グループワークで無口な人はまずいない。発表者になればと歌をとて褒めてくれるみんなのことも大好きだ。